

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ばんだぐみ			
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 1日		～	令和7年 5月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数)	3人
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 1日		～	令和7年 5月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 6月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学習強化をしている。	・元塾講師が在籍している。 ・長期休暇や土曜日の午前中を利用し、苦手な事の強化に取り組んでいる。 ・集中しやすいよう、机や席の配置を工夫している。	・子ども達が興味を持って取り組める学習方法を取り入れている。 ・ゲーム感覚やクイズ形式にするなどして、意欲を引き出ししていく。 ・学習に対する苦手意識を減らすように、できることから取り組んでいく。
2	・食育に力を入れている。	・手作り給食や、手作りおやつを提供している。 ・SSTを通し、食への関心を高められるように努めていく。 ・キッズクッキングを適宜実施している。	・自分たちで食べる給食の野菜を育てる。 ・普段とは違う場所で食事をする機会を設けている。（BBQ等） ・食べる事の意味や楽しさを、知ってもらうような取り組みを一緒に考えていく。
3	・課外活動が多い。	・保護者や子ども達の行きたいところ、やりたいことのアンケートをとっている。 ・普段の環境とは違うところで、様々な刺激や体験を通して学んでもらう機会を設けている。	・地域交流を取り入れた活動をしていく。 ・公共機関を利用し、現地へ行く。 ・普段口にしていないものがどのように作られているか工場見学を通して学ぶ。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援室のスペースが適切ではない。	・元タスペース自体が広くない。	・物の配置を変える。 ・より広い物件に移転する。
2	・バリアフリーになっていない。	・元々バリアフリー物件でない。	・できる範囲でのバリアフリー化をする。
3	・トイレが1つしかない。	・賃貸のため、元々トイレが1つしかない。	・近くの物件を借りて、トイレを確保する。